

税制証明書のチェックリストが、より入力しやすい仕様に変更となりました！

水色のセルに入力すると左側の印刷用書式に自動で反映されます

入力にあたっての注意事項です

証明書と表記が同じであることを確認して下さい

証明者チェック欄は事務局で記入の為、チェックはしないでください

【チェックリスト】

製造業者名	株式会社□□□□(製造元:◆◆◆)	製造者の国	
設備の名称	プリント配線板用自動外観検査機		
設備型式	△△△-2020		
何をするための設備か(簡潔に説明)	プリント配線板のパターン形状の欠陥を		
納入数量	2	ユーザ買本金	10,000 千円

【様式2】

製造業者名	株式会社□□□□	※国等、略称不可
製造元(販売商社や輸入代理店が説明する場合)	◆◆◆	※国等、略称不可
設備の名称	プリント配線板用自動外観検査機	
設備型式	△△△-2020	
設備の種類	1. 電子目録製造系用設備	※ブルダウリストより選択
何をするための設備か(簡潔に説明)	プリント配線板のパターン形状の欠陥を画像で検査する装置	
納入数量	2	※数字のみ記入
ユーザ買本金	10,000	千円

設備メーカー(製造業者)記入欄	1. 該当	<input type="checkbox"/>
当該設備の販売開始年が、取得日から一定期間に属する年度開始の日以後であること。	① 販売開始年(四角で記載) 2020 年(※1)	<input type="checkbox"/>
	② (設備の)取得等をとする年月 2023 年 12 月	<input type="checkbox"/>
	③-①- 3 年が一定期間(※2)の要件内	<input type="checkbox"/>
<比較の要不要>	1. 該当	<input type="checkbox"/>
1. 自社内で類似する機能・性能を持つ製品の輸出が可能		
*【2.を選択の場合】(注)に基づきその理由を具体的に説明して下さい		
<新設設備> *比較する指標の名称・単位を記入		
○ 一代前モデル 120 秒/枚		
(販売開始年) 2012 年、(型式) △△△-2012		
○ 当該モデル 90 秒/枚		
<生産性向上> *名称と算出方法【計算式】を記入		
年平均: 4.2		
計算式: $(1/90 - 1/120) \div 1/120 \div (2020 - 2012) \times 100$		
該当要件への当否	1. 該当	<input type="checkbox"/>

当該設備の販売開始年	2020	※西暦、数字のみ記入
当該設備の取得等をとする年	2023	※西暦、数字のみ記入
当該設備の取得等をとする月	12	※数字のみ記入

<比較の要不要>	1. 自社内で類似する機能・性能を持つ製品の輸出が可能	※ブルダウリストより選択
<比較の要不要>	2. 比較すべき製品が存在しない新製品であるため比較不可を選択した場合、以下を記入	
比較の要不要2を選択した理由を採材料に説明		

比較指標の項目	1. 生産効率	※ブルダウリストより選択
比較指標の採材料の説明	検査速度向上	
一代前モデルの型式	△△△-2012	
一代前モデルの販売開始年	2012	※西暦、数字のみ記入
一代前モデルの指標数値	120	※数字のみ記入
当該モデルの指標数値	90	※数字のみ記入
指標数値の単位	秒/枚	※単位のみ記入

当該モデル及び一代前モデルの
①指標数値の根拠となる資料
(カタログ、仕様書、検査結果の抜粋等)
②販売開始年を裏付ける資料
(リリース情報(URL/メール/チラシ)、
内部資料の抜粋等)
を必ずご提示下さい

中小企業庁QA集
7/14 頁 A-4
をご確認ください

入力内容に問題がなければ
3か所に「1.該当」が表示されます
表示されない場合は
・入力漏れ ・数値の誤り ・誤った箇所への入力
がないか、今一度ご確認願います

<参考> 向上率算出の具体的な計算方法 ※計算式の基本形
(当該数値 - 一代前数値) ÷ 一代前数値 ÷ (当該販売開始年 - 一代前販売開始年) × 100

(例) 加工時間の短縮のケース
一代前モデル 30分/枚(2008年販売開始)
当該設備 22分/枚(2011年販売開始)
 $(1/22 - 1/30) \div 1/30 \div 3 \text{年} \times 100 = \text{年平均} 12\%$

(例) 処理数量の増大のケース
一代前モデル 250 m³/h(2005年販売開始)
当該設備 400 m³/h(2013年販売開始)
 $(400 - 250) \div 250 \div 8 \text{年} \times 100 = \text{年平均} 7.5\%$

(例) 加工精度(or 解像度)の向上のケース
一代前モデル ±40 μm(2012年販売開始)
当該設備 ±8 μm(2013年販売開始)
 $(1/8 - 1/40) \div 1/40 \div 1 \text{年} \times 100 = \text{年平均} 400\%$

(例) 検査速度の向上のケース
一代前モデル 25回/秒(0.04秒/回)(2007年販売開始)
当該設備 100回/秒(0.01秒/回)(2011年販売開始)
 $(100 - 25) \div 25 \div 4 \text{年} \times 100 = \text{年平均} 75\%$
 $(1/0.01 - 1/0.04) \div 1/0.04 \div 4 \text{年} \times 100 = \text{年平均} 75\%$

【※1】販売開始年度はカタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。
【※2】一定期間は、機械装置:10年以内、工具:5年以内、器具類:5年以内、業務用設備:14年以内
【※3】新製品であっても、同様の設備がある場合には比較すること。比較する装置が全く異なる場合は、類似品が全くないことを事業推進課等から明確に説明すること。比較指標がなくとも、当指標等の仕様を示す資料は提出すること。